

環境経営レポート



刈鋌工業 株式会社

実施期間 2024年1月～2024年12月

作成日 2025年2月21日

〒473-0917

愛知県豊田市若林西町広崎35番地

TEL : (0565) 52-3824

FAX : (0565) 52-3839

URL: <http://kariban.co.jp/>

目次

1 組織の概要	1 ページ
2 対象範囲	
3 実施体制(役割・責任・権限含む)	2 ページ
4 環境経営方針	3 ページ
5 環境経営目標(2023年度・中期目標)	4 ページ
6 環境活動計画(取組み項目と取組み内容)	5 ページ
7 環境経営目標に対する実績と評価	6 ページ
8 環境活動計画の結果と評価及び次年度の取組み	7 ページ
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに、訴訟の有無	8 ページ
10 代表者による全体の取組状況の評価と見直し ・指示の結果	9 ページ

1. 組織の概要

(1) 会社概要

・事業者名	刈鋌工業株式会社
・代表者	代表取締役 江原 圭亮
・所在地	愛知県豊田市若林西町広崎35番地
・法人設立	1949年6月
・敷地面積	10,450平方メートル
・延床面積	10,770平方メートル
・資本金	4,700万円
・従業員数	役員 3 人 従業員 111 人 派遣社員 17 人
・売上高	38億4560万円 (2024年1月～2024年12月)
・生産量	138,848,435個 (〃)
・環境管理責任者	代表取締役 江原 圭亮(兼)
・担当者連絡先	環境活動事務局 中島 哲也(0565-52-3824)

(2) 事業・内容活動

- ・自動車部品製造(車体系機能部品)
- ・プレス、溶接、組立加工
- ・プレス金型、治工具の製造

(3) 主要取引先

- ・株式会社 アイシン

2. 対象範囲

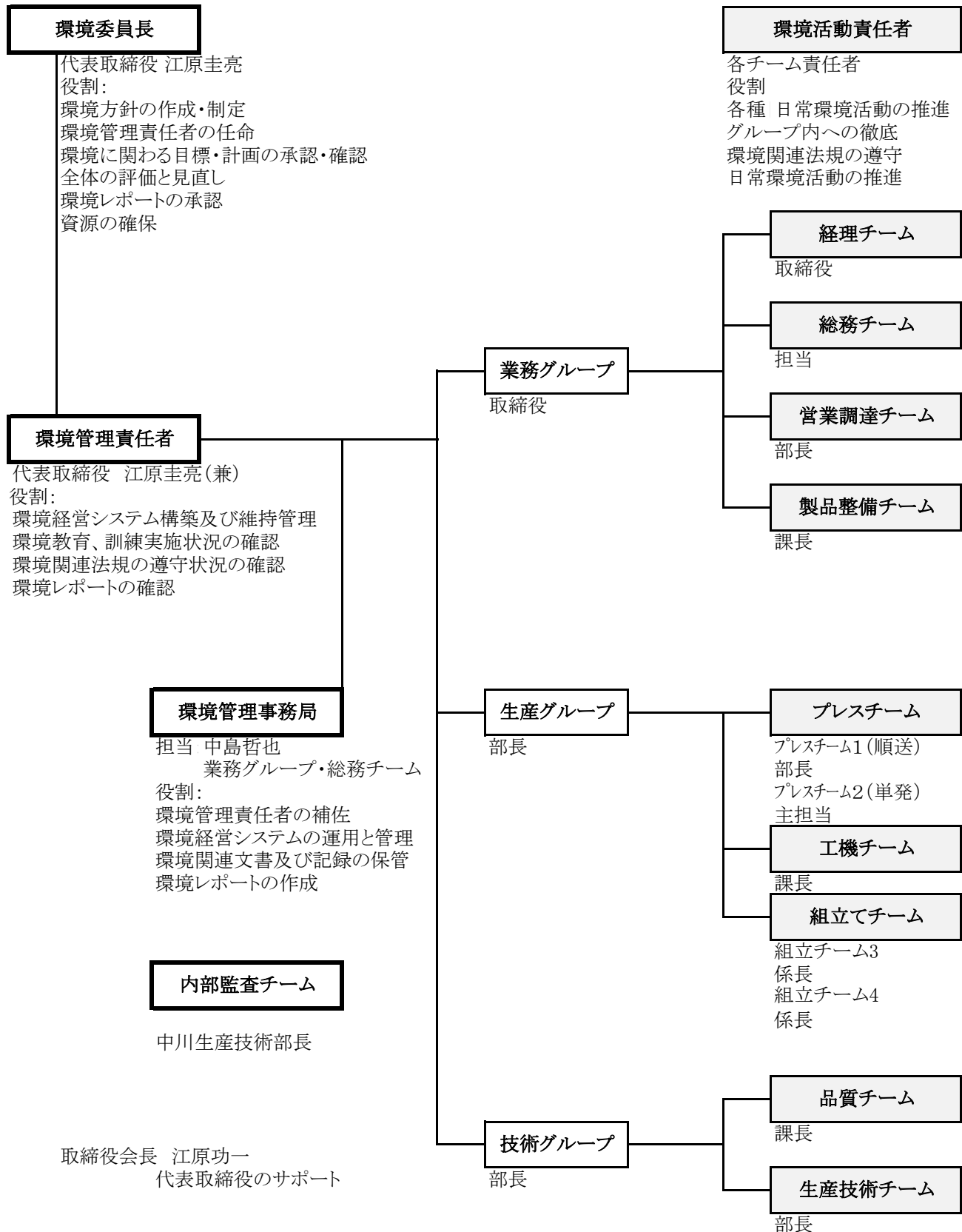
全組織、全活動

環境経営レポートの対象期間 2024年1月～2024年12月

レポート発行日 2025年2月21日

3. 実施体制（役割・責任・権限含む）

刈鉾工業株式会社
確認：2024年12月



役員3名 社員111名 派遣17名 合計131名

4. 環境経営方針

環 境 方 針

環境理念

当社は、自動車部品のプレス・組付製造を主とする企業として、環境にやさしい取り組みを行い、美しく豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ為、全社一丸となって、環境保全活動を積極的に推進する。

活動方針

1. 当社の環境理念に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、計画的な実施と見直しにより継続的改善を行う。
2. 当社に適用される法規制、その他要求事項を遵守し、もしくは自主規制を設け環境汚染の予防活動に努める。
3. 次に掲げる事項において活動計画を定め、実行する。
 - ①省エネルギー活動を推進し、CO₂排出量を削減する。
 - ②産業廃棄物の削減とリサイクル活動の積極推進。
 - ③グリーン購入の推進。
 - ④化学物質使用量の削減。
 - ⑤不良品を削減し、品質目標を向上させる。
 - ⑥環境教育・啓蒙活動を行い、社員が環境を大切にする企業を目指す。
 - ⑦地域とコミュニケーションを図り、地域の範となる環境保全活動を行う。

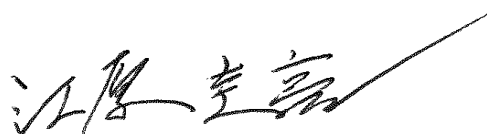
この環境方針は社内へ周知すると共に広く一般にも公開する。

平成23年2月10日 策定

平成27年6月 1日 改定

(令和3年6月1日 確認)

刈鉾工業株式会社
環境委員長
代表取締役



5. 環境経営目標(2024年度・中期目標)

作成:2017年 6月 1日

確認:2025年2月10日

		単位	基準値	2024年度目標	中期目標	
			直近3年間の 実績平均など*1 (参考)	2024年 1月～12月	2022年～ 2025年	
二酸化炭素の削減				基準値比 －4％削減	2025年までに 基準値比 －5％削減 (年率1％)	502581.12
①総排出量	kg-CO2	523,522				
②原単位	kg-CO2/1万個	41.07	39.4272			
③購入電力量*2	kWh	1,142,949	1097231			
④最大電力(参考)	kW	(391)	－375.36			
⑤化石燃料(ガソリン、軽油)使用量	ℓ	5,347	5133.12			
⑥灯油使用量	ℓ	2,240	2150.4			
排出物の削減*3 削減目標の対象は⑦と⑩。 ⑧⑨⑪は(参考)				基準値比 －4％削減	2025年までに 基準値比 －5％削減 (年率1％)	0
⑦一般廃棄物(燃やすごみ等)	t	12.10	11.616			
⑧ 〃 (再資源化物)	t	0.70	0.67488			
⑨産業廃棄物(再資源化物)	t	3.29	3.1584			
⑩ 〃 (再資源化物以外)	t	6.91	6.6288			
⑪鉄スクラップ	t	4,641	4455.36			
品質不良の低減						0
	クレーム件数	件	188	適切な解析と客先対応の充実		180.48
水使用量の削減		m3	5,321	－4％削減	－5％削減	5108.16
化学物質使用量の削減*4						0
	PRTR対象物質	kg	356.04	実績の把握と適正な管理		341.7984
紙使用量削減		枚	209,750	－4％削減	－5％削減	201360
グリーン購入の推進(事務用品)						0
グリーン購入費		％	68％	購入率60％以上		0.6528

*1 2018年、2019年、2020年の実績値の平均などを基本に策定

*2 電力のCO2排出係数は中部電力の2019年度調整後排出係数0.426kg-CO2/kWhを使用。

*3 一般廃棄物は「⑧燃やすごみ」が削減対象。産業廃棄物は「⑪(再資源化以外)」が削減対象。

*4 ⑪産業廃棄物(再資源化以外)＝産業廃棄物最終処分(埋立)でプラ・金属・ガラス・陶器くずなどの混合廃棄物。

*5 化学物質はバレルコンパウンド液中のPRTR物質が対象(基本的には生産量に依存)。

6. 環境活動計画(取組み項目と取組み内容)

全社にて取り組む計画と各グループ・チームにおいて目標を立て実施する計画を立て活動

取組み項目	取組み内容
エネルギー使用量の削減 空調の温度設定管理 休憩時間の消灯管理 工場圧縮空気の漏れ確認・修理	各グループ・チーム毎冷暖房設定温度チェックリスト記入 各グループ・チーム毎休憩時の消灯 個別活動計画表にて管理
購入電力の削減 省エネタイプ設備への移行 デマンド装置の設置	設備導入時 時間ごとの電気使用量の把握
化石燃料の削減について ガソリン、軽油使用量の管理 灯油使用量の管理	アイドリングストップの周知 エコドライブの推進 ストーブのつけっぱなしをなくす 灯油使用量管理表への記入
排出物の低減について 一般廃棄物	ゴミ分別表の配布による分別の周知 分別専用ゴミ箱の設置 廃棄物排出量管理表への記入
産業廃棄物	分別の周知 使い切る努力、再利用の推進
鉄スクラップの低減	不良廃却の低減
品質不良の低減について	朝ミーティング活動 週一会議の実施
水使用量の削減について	節水の周知 漏れの確認を定期的に行なう 使用量の把握
化学物質の使用量の削減	使用量の把握 適正使用量の管理
購入資材の削減について 鋼材使用量の削減 部品使用量の削減	品質活動によるロスの低減 品質活動によるロスの低減
紙資源の再利用の促進について コピー紙使用量の削減 帳票紙使用量の削減	メールの利用等、文書の電子化の推進 裏紙使用の周知 使用量の把握
グリーン調達推進について	新規購入品の確認 一覧表にて確認

7. 環境経営目標に対する実績と評価

確認:2025年2月11日

	単位	2024年1月～12月		評価	
		目標値 基準比+4% (参考)	実績値		
二酸化炭素の削減					
①総排出量	kg-CO ₂	502,581	416,631	○	83%
②原単位	kg-CO ₂ /1万個	39.43	30.01	○	76%
③購入電力量*2	kWh	1,097,231	978,007	○	89%
④最大電力(参考)	kW	375	374	○	100%
⑤化石燃料(ガソリン、軽油)使用量	ℓ	5,133	3,238	○	63%
⑥灯油使用量	ℓ	2,150	2,540	×	118%
排出物の削減*3 削減目標の対象は⑦と⑩。 ⑧⑨⑪は(参考)					
⑦一般廃棄物(燃やすごみ等)	t	11.62	13.53	×	116%
⑧一般廃棄物(再資源化物)	t	0.67	0.75	×	111%
⑨産業廃棄物(再資源化物)	t	3.16	9.68	×	306%
⑩産業廃棄物(再資源化物以外) *4	t	6.63	14.52	×	219%
⑪鉄スクラップ	t	4,455.36	4,200.00	○	94%
品質不良の低減					
クレーム件数	件	180	177	○	98%
水使用量の削減	m ³	5,108	4494	○	88%
化学物質使用量の削減*5					
PRTR対象物質	kg	341.7984	124.54	○	36%
購入資材の適正化					
紙使用量削減	枚	201,360	174,700	○	87%
グリーン購入の推進(事務用品)					
グリーン購入費	%	65%	60%	×	92%

*1 2018年、2019年、2020年の実績値の平均値なおをベースに策定

*2 電力のCO₂排出係数は中部電力の2019年度調整後排出係数0.426kg-CO₂/kWhを使用。

*3 一般廃棄物は「⑧燃やすごみ」が削減対象。産業廃棄物は「⑪再資源化以外」が削減対象。

*4 ⑩産業廃棄物(再資源化物以外)＝産業廃棄物最終処分(埋立)でプラ・金属・ガラス・陶器くずなどの混合廃棄物。

*5 化学物質はバレルコンパウンド液中のPRTR物質が対象。

8 環境活動計画とその評価及び次年度の取組み

取組み項目	取組み内容	評価結果	次年度の取組
エネルギー使用量の削減			
空調の温度設定管理	各グループ・チーム毎冷暖房設定温度チェックリスト記入	○	継続実施
休憩時間の消灯管理	各グループ・チーム毎休憩時の消灯	○	
工場圧縮空気の漏れ確認・修理	個別活動計画表にて管理	○	
購入電力の削減			
省エネタイプ設備への移行	設備導入時	○	計画継続
デマンド装置の設置	時間ごとの電気使用量の把握	○	冬季の確認
化石燃料の削減について			
ガソリン、軽油使用量の管理	アイドリングストップの周知	○	継続実施
	エコドライブの推進	○	
灯油使用量の管理	ストーブのつけっぱなしをなくす	○	
	灯油使用量管理表への記入	○	
排出物の低減について			
一般廃棄物	ゴミ分別表の配布による分別の周知	○	継続実施
	分別専用ゴミ箱の設置	○	
	廃棄物排出量管理表への記入	○	
産業廃棄物	分別の周知	○	混合廃棄物の 分別の徹底
	使い切る努力、再利用の推進	○	
鉄スクラップの低減	不良廃却の低減	○	継続実施
品質不良の低減について	朝ミーティング活動	○	継続実施
	週一会議の実施	○	
水使用量の削減について	節水の周知	○	継続実施
	漏れの確認を定期的に行なう	○	
	使用量の把握	○	
化学物質の使用量の削減	使用量の把握	○	継続実施
	適正使用量の管理	○	
購入資材の削減について			
鋼材使用量の削減	品質活動によるロスの低減	○	継続実施
部品使用量の削減	品質活動によるロスの低減	○	
紙資源の再利用の促進について			
コピー紙使用量の削減	メールの利用等、文書の電子化の推進	○	継続実施
帳票紙使用量の削減	裏紙使用の周知	○	
	使用量の把握	○	
グリーン調達の推進について	新規購入品の確認	○	継続実施
	一覧表にて確認	○	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに、訴訟の有無

当社に適用となる主な環境関連法規

法 律 名	遵 守 事 項	遵守状況
公害防止組織の整備に 関する法	公害防止統括者の選任 公害防止管理者の選任	遵守
騒音・振動規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの発行・管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書 産業廃棄物処理契約 産業廃棄物業者の確認 産業廃棄物の適正保管	遵守
浄化槽法	保守点検・定期点検の管理 浄化槽の保守点検と清掃	遵守
消防法	少量危険物貯蔵取扱の届出 貯蔵及び取扱に関する遵守事項	遵守
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	特定製品の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 事業用エアコンの定期的な点検と記録 簡易点検対象全て・定期点検7.5kW以上	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化	遵守
県民の生活環境の保全等 に関する条例 豊田市環境を守り育てる条例	環境保全の活動 環境負荷低減の活動 など	遵守

環境関連法規の見直し、遵守状況

環境関連法規につきましては現在違反はありません

なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの騒音等の苦情があり、改善を実施しました。

遵守評価日 2025年 2月 10日
 遵守評価者名 刈鉾工業株式会社
 環境管理責任者
 代表取締役 江原 圭亮

10 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

実施日 2025年 2月 14日

見直しに必要な情報			代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項	
[取り組み状況の評価結果] エネルギー消費については低減が目標以上に進んだ。 しかし廃棄物は大幅に増えてしまった。 5S活動の全社展開に伴う一時的なものと思われるが、 今後の推移を注視したい。 <改善への提案> 少しでも再資源化できる形へ分別を進め、再資源化できない 廃棄物の減量に取り組むように。			[環境方針] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無	
[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)			[目標・活動計画] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無	
目標項目	目標比		今年度は昨年度に設定した 目標値(直近過去3年間の実績値の 平均等をベースに設定)、 活動計画を踏襲した。	
CO ₂ の削減	17%減			
電力使用量	11%減			
化石燃料	37%減			
一般廃棄物(燃やすごみ)	16%増			
産業廃棄物(再資源化物以外)	119%増			
産業廃棄物(再資源化物)	206%増			
水使用量	12%減			
紙使用量	13%減			
グリーン購入費	8%減			
<改善への提案> (詳細は「問題の是正・予防処置報告書」による)				
[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録より ・外部からの苦情は1件 ②環境関連法規制等の動向他 ・定期的チェックを実施 <改善への提案> ・維持			[その他] 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 実施体制の確認(継続)	
[総括]代表者による指示事項 ・CO ₂ については予想以上に削減できているので、これまでの取り組みを続けたい。 ・廃棄物については、再資源化物にならないかの判断基準を周知させて、減量へ向かいたい。 ・苦情に対する改善実施内容が継続するよう注意すること。				

令和6年2月14日

